

「キャッシュフロー分析応援Super/Lite」機能アップ版 概要(Ver.2.01)

「キャッシュフロー分析応援Super/Lite Ver.2.01」での対応内容をご案内します。

1. データの利用について

データ移行対象バージョン・・・Ver.1.00以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

2. システムの変更内容

以下の機能アップを行います。

グラフの複数表示機能、他社比較表示機能の追加

任意の複数グラフをまとめて表示・印刷したり、他社との比較をグラフで確認できます。

<複数表示>

任意のグラフを4つまで選択して、表示できます。選択した複数のグラフを1画面に表示、印刷します。

<他社比較表示>

自社と他社の同じグラフを1画面に表示、印刷して、比較できます。

グラフの分析期数の選択

グラフの分析期数を 3期 / 5期 から選択できます。(従来は3期のみ)

帳表の追加

次の帳表を追加しました。

<企業の総合評価分析表>

「事業の継続性」、「収益獲得政策&能力」、「キャッシュフロー創出政策&能力」、「投資政策&能力」、「財務政策&能力」という5つの項目から企業を評価し、その総合計点から全体の評価を行います。

<評価基準一覧表>

企業の総合評価分析の分析データの評価をするときの基準値となるものです。初期値の評価基準を変更して、独自の評価基準を取り込むことも可能です。

<評価分析表の見方>

「企業の総合評価分析表」の分析データの見方を表示することができます。初期値の評価分析表の見方を変更して、独自の評価分析表の見方を取り込むことも可能です。

「グラフ体系 早見」タブメニューの追加

「グラフ体系 早見」メニューでは、グラフ全体を一つの体系として早見できます。例えば「CF計算書全体」を選択すると、1画面に(01)CF計算書と(02)利益とCFの差異1の2つのグラフを表示します。

なお、「グラフ体系 早見」と「グラフ」のそれぞれのタブメニューから作成できるグラフの種類は同じです。

グラフの追加

次の3つのグラフを追加しました。

(20)キャッシュフロー付加価値:当システム独自の定義「キャッシュフロー付加価値(CVA)」等を棒グラフ化

(21)投下資本リターン比率:ROA(総資産利益率)とROE(株主資本利益率)とその分子をキャッシュフローに置き換えたCFROA、CFROE、及びCVA/総資産の折れ線グラフ

(22)企業の総合評価:「企業の総合評価分析表」の5項目からなるレーダーチャート

有価証券の時価評価対応

有価証券の時価評価に対応するための科目を追加し、帳表の計算式を改めました。

3. 動作環境

使用環境	Super スタンドアロン Lite	ネットワーク版	
		クライアント	サーバ
OS	WindowsXP/2000/Me/98 (*1)	WindowsR2000Server WindowsRServer2003 (*1)	
メモリ	64MB 以上 (128MB 以上推奨) XP/2000 の場合 128MB (256MB 以上推奨)	256MB 以上	
CPU	お使いのOS が推奨する環境以上 (PentiumR 500MHz 以上推奨)		
ディスプレイ	解像度:1024×768 ドット(小さいフォント)以上 WindowsR XP の場合は標準フォント 表示色:high Color(16Bit)以上		
HDD	30MB 以上	20MB 以上	10MB 以上
データ容量	初期容量 1.5MB + (登録数×1MB)	-----	初期容量 1.5MB+(登録数×1MB)
最大用紙サイズ	A4		
プリンタ	レーザープリンタ (ポストスクリプト対応プリンタ除く) (*2)または カラーインクジェットプリンタ (ADF 付)		

(*1): Windows® Server 2003は、サーバ用として使用する場合のみ動作保証します。クライアント、スタンドアロン版用として使用することはできません。また、クライアントは Windows®XP/2000Professional を誤使用下さい。

(*2)カラープリンタは EPSON 製が対象です。